9月県議会

設質

川

ろよし)

会活動を展開する茂原市選出の鶴岡宏祥(つるおか・

県議は、9月定例県議会でも一般質問に登壇し、

県議会の自民党中堅議員として、

ますます活発な議

合流点までの約3キロ区間

S



話 043(227) T260-0855 千葉市中央区市場町2番1

鶴岡県議のその他の質疑を特集しました。 抜本的な治水対策を

リがわずか半日で降るとい う、過去に経験したことの の大雨は、総量で360ミ ない豪雨でした。一宮川流域 鶴岡議員 昨年10月25日

浸水被害が発生したこと 濫し、茂原市街地で甚大な では、一宮川や阿久川が氾 思います。 は、皆さんご承知のことと

幅や護岸法立てを令和6年 度までに実施することとし ており、地元で開

スマスクをして登壇 催された説明会で いています。 が多くあったと聞 改修への期待の声 民の方々から早期 は、参加された住

うか。 今後の見通しはど 事業の進捗状況と における河川改修 す。一宮川中流域 そこで伺いま

流点から鶴枝川上流の端沢川合 河口から約7キロ 県土整備部長 增 のと考えています。 令和5年2月1日になるも おり料金徴収期間満了後の 房有料道路の償還状況は、 放については、事業計画のと 計画の95%であり、無料開 **県土整備部長** 千葉外

コロナ対策でフェー

多くの浸水被害が発生した うまでもありません。特に 対策が必要であることは言 らせるよう、抜本的な治水 |宮川中流域では、河道拡 茂原の住民が安心して暮

ずは用地確保が重要であ に完了させるためには、ま 業を令和6年度までに確実 県土整備部長

用地取得のための境界立会 豊田川合流点までの約4・1 いを実施したところです。 する計画としており、9月に は、河道を約1・4倍に拡幅 また、鶴枝川合流点から

るジャンボタニシの食害こwkょんらごでついましたが対策を訴えました。また、九十九里地域の水田に広がして暮らせるよう|宮川の河川改修など、抜本的な治水月に茂原市中心街を襲った豪雨災害から、市民が安心月に茂原市中心街を襲った豪雨災害から、市民が安心」」(………是そ耳り上しました。鶴岡県議は、昨年10

るジャンボタニシの食害に悩まされる農家の立場を代弁

、地域ぐるみの防除対策を要望。地域の道路問題など、

のか。 うな体制で取り組んでいる 地取得について、県はどのよ 拡幅を進める上で重要な用 鶴岡議員 一宮川の河道

員し、

体制の拡充を行い

ま

この度、一宮川改修事

務所に用地担当職員を

シングの活用も検討しなが めるとともに、アウトソー られるよう取り組んでま ら、確実に用地取得を進め ために必要な人員配置に努 今後とも、業務を進める

護岸を改修する計画とし 検討を行っているところです。 集市街地に挟まれた河道内 河道断面を広げるとともに キロ区間は、河道掘削によ を短期間で施工するための おり、現在、茂原市の住宅密 今後とも、地元のご協力を

推進を図ってまいります。 順次着工できるよう事業の の完成を目指し、来年度から いただきながら、令和6年度

激特事 ります。 した。

地域の道路問題で要

O

無料開放

路は周辺道路の渋滞解消や

業進捗状況はどうか。 ラインの広域農道までの事 鶴岡議員 外房有料道

鶴岡議員 長生グリーン

用したところです。 に圏央道側1・5キロを供 備を進めており、本年5月 までの6・5キロ区間で整 茂原長南ICから広域農道 県土整備部長 圏央道の

の償還状況と無料開放の見 います。千葉外房有料道路

ても重要な役割を果たして 外房地域への観光ルートとし

通しはどうか。

得率は約7割となっていま 備を進めており、用地取 での5キロ区間について整 現在、残る広域農道

> 用を目指し、 喜線までの2・5キロ区間 保できている県道茂原大多 について、令和5年度の供 地の取得を進め、用地を確 工事を進めて

引き続き、早期に残る用

まいります。

● 県道茂原大多喜 県道茂原大多喜

ても事業に着手するよう要 すためにも、茂原市につい 備を要望します。 ラインまでの4車線化の整 父通円滑化に効果をもたら ハスについて、茂原市域の 28号から長生グリーン 県道茂原白子線バイ

で要望をお聞かせください 茂原市や県政のご相談、 7 ΠП 297-0037 茂原市早野2130 TEL.0475(27)2601/FAX.0475(26)2839

登壇後に知事とあいさつする鶴岡県議

取り組んでいるところです。 を、現在、5市町6地区で 導入効果を実証する試験 水管理作業の省力化技術の 減を図るため、農薬散布や タニシの防除作業の負担軽

農薬散布については、ドロー

り組む総合防除対策推進事 課題です。地域ぐるみで取 の防除対策はまさに喫緊の 業について、どのように取り 鶴岡議員 ジャンボタニシ

組んでいるのか。

り、現在、12市町村17地 防止、越冬防止及び水路の 図るため、侵入防止、食害 ジャンボタニシの被害軽減を います。 区で取り組みが進められて を支援しているところであ 域の協議会が実施する対策 貝の生息密度低減など、地 農林水産部長県では、

口へのネット設置による侵入 これまでに、水田の取水

> 防止効果のほか、 ころです。 期の農薬散布や水位を浅く 害軽減効果が確認されたと した栽培管理などによる食 田植え時

ります。 るみで総合的に進めてまい タニシの防除対策を地域ぐ 泥上げなどを行い、ジャンボ の生息密度の低減を図るた 引き続き、越冬防止や貝 水田の耕うんや水路の が必要と考えています。

ジャンボタニシ

テーションセンターについて、 鶴岡議員 千葉リハビリ

伺います。私自身もかつて 入院した際には、 献身的に

人により、携帯端末での給水

鶴岡議員

新型コロナウ

るのか。 クが高いとされる高齢者や ターの発生及びその拡大防 いる社会福祉施設や病院な 患者などが入所・入院して 止にどのように取り組んでい イルス感染症に係るクラス 森田知事 重症化のリス

どは、特にクラスターに注意 祉施設等でクラスターや感 このため県では、社会福 ています。

の迅速な隔離を行うこと ム」の制度を創設しました。 で、感染拡大の防止を図っ 濃厚接触者の把握や感染者 な人員を速やかに派遣し、 師や看護師の中から、必要 専門的な知識を有する医 れている、感染症に関する 力いただき、約80名登録さ する一クラスター等対策チー 県内の3医療機関にご協

染者が発生した場合に対応

現在の状況はどうか。また、 の施工時期平準化について、 今後どのように取り組んで 鶴岡議員 県の公共工事

設の整備や維持管理の担い 手である建設業は、災害時 **県土整備部長** 公共施

鶴岡議員 阿久川の整備

順次、護岸工事に着手し までに用地取得が概ね完成 1キロ区間は、令和元年 成しています。その上流は いきます。 について、進捗状況はどうか。 したことから、今年度か 0・2キロの護岸工事が 県土整備部長 阿久川で 獅子吼橋から上流側

> その上流側右岸にあるB調 県土整備部長

護岸工事を実施しています。 今年度は左岸側のA調

の進捗状況と今後の見通

鶴岡議員

を確認しました。 管理が効率的に行えること た効果を更に検証したうえ 今後は、本事業で得られ

支えていただき、まさに県

基本計画では、効果的な

進めることが必要だと考え

事業について、どのように取

の防除対策省力化技術実証

鶴岡議員 ジャンボタニシ

り組んでいるのか。

農林水産部長 ジャンボ

を農業者に周知してまいり こうした防除対策の有効性 地域の実情も踏まえ、

周知をお願いするととも に、機械の導入助成を強く どについても、農業者への 事が重要だと思いますの 防除対策を徹底していく 防除機械の導入効果な めとしたさまざま 農薬散布をはじ

活用した水管理システムの導 軽減されることや、ICTを の活用により、作業の負担が ンや田植え同時農薬散布機

> 進んでいくものと期待してい を策定し、本年度はいよい よ新しい施設の設計などが センター再整備の基本方針 持っています。県では昨年度、 施設であるとの思いを強く 施設整備に、どのように取 す。県民ニーズに対応した るところです。 そこで伺いま 民にとってなくてはならない

> > 勢の強化などを盛り込んだ 症心身障害児の受け入れ態 施設等では対応が困難な重

が0・60と改善されており、

年度が0・58、平成30年度 に取り組んだ結果、平成29

令和元年度は更なる改善が

見込まれています。

今後とも、工事の発注部

ところです。

社会復帰に向けた自宅環境 るための訓練室の拡充や、 リハビリテーションを提供す

の平準化率は、いわゆるゼロ

国が公表している千葉県

債や2ヵ年債務の活用など

を模した部屋の整備、民間

すい環境の整備や、利用

の再整備は、女性が働き

テーションセンタ 千葉リハビ

たけでなくお見舞いに来.

取り組みの実施状況を検証 協議会庁内部会において、 局で構成する千葉県発注者

ターの再整備に当っては、県 本計画を策定しました。 幅広く意見を伺った上で、基 討会議や利用者アンケート、 ため、有識者等で構成する検 民ニーズを十分に反映させる り組んでいくのか。 パブリックコメントの実施など 森田知事 県では、セン

します。

にしっかりと応える再整

化に努めてまいります。

備など、現場や県民ニー

トランなどの憩いの場の

数の増加につなげることによ

更なる施工時期の平準

、債務負担行為の活用件

豕族なども利用できるレ

要な役割を果たしており、 その健全な発展に向け、 注者が施工時期の平準化を には地域の守り手として

を進めていただくよう要 ていただくよう要望しま 時期の平準化をさらに進め **丸となり、公共工事の施工** いては、県の各部局が 化は重要だと考えます。 公共工事の施工時期の平 見据えると、やは 建設業の将来を

総橋までの7・7キロ区間で は、南白亀川合流点から上 に南白亀川合流点から萱場 整備を進めており、これまで 橋までの4・2キロ区間と、 赤目川で

とともに萱場橋上流部での 節池が完成しています。 節地の掘削工事を実施する 点で約92%を取得してお 用地は、令和元年度末時